

KVK 浄水器内蔵用水栓 K1610(Z)(N)2 〈各仕様共通〉 施工説明書

施工業者様へ 施工前にこの施工説明書を必ずお読みのうえ、正しく施工してください。
この施工説明書と取扱説明書、ユーザー登録カード、浄水カートリッジはつり下げ袋に入れ水栓につるして、必ずご使用になるお客様にお渡しください。

安全上のご注意

- ここに示した **警告** は誤った取扱いをすると、死亡または重傷に結び付く可能性があります。
- ここに示した **注意** は誤った取扱いをすると、傷害または物的損害に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

この絵表示は、してはならない「禁止」の内容です この絵表示は、必ず実行していただく「強制」の内容です

警告	加工および接合、市販浄水器具の取り付け等の改造はしないでください。 器具が破損し、やけど・けがをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。	寒冷地仕様の場合 水抜き栓は水抜き以外の目的で開けないでください。 水抜き栓をいきなり開けますと高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が噴き出して、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。	配管などの解氷のため解氷機をご使用の場合、水栓には絶対に通電しないでください。 通電すると水栓が発熱し、破損して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
	湯側配管には接続しないでください。 器具やカートリッジが破損し、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。	器具に強い力や衝撃を与えないでください。 器具が破損し、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。	カートリッジを落としたり、強い力や衝撃を与えないでください。 カートリッジが破損・変形し、浄水効果が発揮されないおそれがあります。

注意	めっき部品は、ぶついたり落としたりしないでください。また、鋭利物や硬い物を当てないでください。 めっきの表面が割れてけがをするおそれがあります。万一、めっきの表面が割れた場合はただちに使用を停止し、新しい部品に交換してください。	シャワーヘッドの浄水出口は清潔を保つため、汚れた手で触ったり、シャワーヘッドを水中に没するような使い方はしないでください。 飲料水に適さない水が流出し、体調を損なうおそれがあります。	35°Cより高温で使用しないでください。 35°Cより高温でご使用になると、カートリッジが破損する場合があります。
	器具が破損し、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。	カートリッジが破損し、浄水効果が発揮されないおそれがあります。	35°C以下

注意	浄水カートリッジは取り付けず、つり下げ袋に入れたまま、水栓につるし、お客様にお渡しください。お客様が使用開始する時点での取り付けになります。 施工の時点で取り付けを放置すると、飲用に適さない水が流出して体調を損なうおそれがあります。	水道水および飲用可能な井戸水を使用してください。 水道水および飲用可能な井戸水以外の水を使用すると、故障や水漏れの原因になったり、体調を損なうおそれがあります。	凍結が予想される際は、一般仕様をお使いの場合、少量の水を出しておくか、配管に布を巻くなどして、凍結を防止してください。寒冷地仕様をお使いの場合は配管の水抜き操作と水栓金具の水抜き操作を行ってください。 水抜きしないと凍結破損で漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
	施工の時点で取り付けを放置すると、飲用に適さない水が流出して体調を損なうおそれがあります。	水道水および飲用可能な井戸水以外の水を使用すると、故障や水漏れの原因になったり、体調を損なうおそれがあります。	水抜きしないと凍結破損で漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

取り付け前に

- ① 使用水圧（給水圧力）最低必要水圧：0.07MPa（動水圧）、最高水圧：0.75MPa（静水圧）
- ② 給水圧力が0.75MPaを越えるときは、市販の減圧弁で0.2MPa程度に減圧してください。
- ③ 本製品の通水温度は35°C以下です。
- ④ 本製品は改造（加工および接合、市販浄水器具の取り付け等）によるトラブルについては、保証の限りではありません。
- ⑤ 通水確認をしていますので器具内に水が残っている場合がありますが、製品には問題ありません。

浄水カートリッジについて

【注意】 施工の時点では、浄水カートリッジは取り付けず、つり下げ袋に入れたまま、水栓につるし、お客様にお渡しください。お客様が使用開始する時点での取り付けになります。施工の時点で取り付けを放置すると、浄水カートリッジが破損し、飲用に適さない水が流出して体調を損なうおそれがあります。

施工の時点では、シャワーヘッド（握り）に貼っている「ご使用前にカートリッジをとりつけてください」シールは、はがさないでください。お客様が使用開始する時点ではがします。

つり下げ袋の中に下記の物が同梱されているか確認してください。

シールはがさない

ハンドルの取り付け位置について

この水栓は、ハンドルの取り付け位置によっては完全に止水しない場合があります。施工時やメンテナンス時にハンドルをはずした場合は、下記を参照し、正しく取り付けください。カートリッジにハンドル金具をはめて止水位置にしてから再度ハンドル金具をはずし、位置合わせのためはめ直してください。

- ハンドル金具の頂点とスペーサーにある▽マークとの位置合わせ（★）が必要です。

★位置合わせ [上から見た図]

はめる

ハンドル金具

スペーサー

止水位置

全開吐水位置

取り付け後の点検と清掃 1

通水確認・ゴミ等の洗い出し

【注意】 水栓を取り付け後、通水して水の出し止めを5～6回繰り返し、配管接続部および水栓から水漏れがないことを確認してください。確認しないと、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

通水確認は、浄水カートリッジを取り付けない状態で行ってください。浄水カートリッジを取り付けた状態で通水確認をして、使用しないまま放置した場合、浄水カートリッジの性能が落ち、使用できなくなる場合があります。

- ① クリップを指ではずします。
- ② シャワーヘッド（握り）を吐水口からはずします。
- ③ 水の出し止めを5～6回繰り返し、配管接続部および水栓から水漏れがないことを確認してください。
- ④ 水全開で数分間吐水させ、配管・水栓内のゴミ等を洗い流します。

① はずす

② はずす

③ 通水確認

④ ゴミ等の洗い出し

清掃後は、はずした逆の手順で組み立ててください。

取り付け後の点検と清掃 2

シャワーフェイス・ストレーナ清掃のお願い

シャワーヘッドのシャワーフェイス・ストレーナにゴミ等がたまりやすくなります。吐水量が減ったり、きれいに流れなくなったりしますので、施工後必ず清掃してください。

- ① 湯水全開で20～30秒吐水させます。
- ② クリップを指ではずします。
- 【お願い】 クリップをはずす際は、工具を使用しないでください。工具を使用すると、シャワーヘッド（握り）に傷がつくおそれがあります。
- ③ シャワーヘッドをはずし、ストレーナ（1個）を取りはずします。
- ④ シャワーフェイスをはずして、ストレーナ（6個）を取りはずします。
- ⑤ シャワーフェイス・ストレーナをブラシで水洗いします。

シャワーヘッド

③ はずす

ストレーナ (1個)

クリップ

② はずす

歯ブラシなど

⑤ 清掃

パッキン

ストレーナ (6個)

シャワーフェイス

④ はずす

シャワーフェイス

〈清掃後の組み立て〉

はずした逆の手順で組み立ててください。その際、シャワーフェイスを締め込む時、約2回転程締め込んで、シャワーフェイスつまみ部が後ろで止まるまで締め込んでください。

【お願い】 止まるまで締め込んだら、それ以上締め込まないでください。破損するおそれがあります。

下から見た図

つまみ部

シャワーフェイス

後ろ

故障かなと思ったら…

次のような現象は故障ではありません。修理を依頼される前に下記の表に従ってもう一度お確かめください。

現象	お調べいただくところ	処置	参照ページおよび項目
吐水量が少ない	シャワーフェイス・ストレーナにゴミ等がたまっていませんか	シャワーフェイス・ストレーナを清掃する	4 ページ 「シャワーフェイス・ストレーナ清掃のお願い」
	シャワーフェイス・ストレーナは凍っていませんか	シャワーフェイス・ストレーナにぬるま湯をかける	—
吐水が飛び散る	シャワーフェイス・ストレーナにゴミ等がたまっていませんか	シャワーフェイス・ストレーナを清掃する	4 ページ 「シャワーフェイス・ストレーナ清掃のお願い」

【水栓本体内部のメンテナンスをする場合】

【注意】 修理技術者以外の方は水栓本体内部を分解しないでください。故障や水漏れの原因になります。水栓本体内部のメンテナンスは、取付店・販売店またはKVK修理受付センターにご依頼ください。